

# 3年連続で 出資配当を可決

～第13回通常総代会～

J Aは第13回通常総代会を5月28日、大東町の大東コミュニティセンターで開きました。総代518人中481人（書面、委任状出席含む）が出席し、10年連続の黒字決算となった平成21年度事業報告と3年連続の出資配当金2,467万円などの剰余金処分案や「新たな協同の創造に向けた」3か年計画の設定など全10議案を承認、可決しました。

また、「新たな食料・農業・農村基本計画の実践、WTO農業交渉、規制・制度改革に関する特別決議」と「口蹄疫防疫対策等にかかる緊急決議」を採択しました。

総代会終了後の理事会では、互選により鈴木昭男代表理事組合長を再任しました。

## 当期剰余金5876万円を確保

鈴木組合長はあいさつで「景気の低迷を肌を感じているところ、口蹄疫の問題が浮上し、当J Aを始めとする一関地方農林業振興協議会でも緊急対応を進めています。また、米の消費低迷による需給率の不均衡や、農畜産物の価格の低迷など農業を取り巻く状況は危機的状況にあります。このことを踏まえ新3か年計画では農業の復建、地域社会への貢献、健全なJ A経営を軸に進めてまいります」と述べ「合併はそれぞれのJ Aの財務をしっかりと確認した上で、不安のない形で示していきます」と述べました。

平成21年度は、農畜産物の価格低迷や個人消費の落ち込みなどの影響で、販売、共済事業の事業利益の減少により事業総利益が計画を下回りましたが、全体として事業管理費等の縮減を図る中で、事業利益は3206万円、経常利益では8249万円と計画を上回る実績を確保。当期剰余金は昨年並みの5876万円を計上することができました。当期末処分剰余金7883万円のうち、2467万円を3年連続の出資配当金に充てるなどの剰余金処分案を決定しました。

自己資本比率は15.2%で、引き続き高い水準を維持しています。

## 『新たな協同の創造に向けた』 3か年計画がスタート

### 3か年計画 基本方針

平成24年度を目標年度とする『新たな協同の創造に向けた』をメインタイトルとする新3か年計画を策定し実践します。

農業・JAを取り巻く環境は、農畜産物の価格低迷、組合員の高齢化等による組織基盤の脆弱化、事業量の減少傾向、さらには政権交代による戸別所得補償制度の導入など大転換期に突入しています。

JAは、協同組合の価値を再



#### 第13回通常総代会報告事項

○JAバンク基本方針の変更について

#### 第13回通常総代会提出議案

- 第1号議案 定款の一部変更について
- 第2号議案 信用事業規程の一部変更について
- 第3号議案 平成21年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- (報告) 平成21年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について
- 第4号議案 「新たな協同の創造に向けた3か年計画」の設定について
- 第5号議案 平成22年度事業計画の設定について
- 第6号議案 平成22年度経費の賦課及び徴収方法の決定について
- 第7号議案 平成22年度理事に支払う報酬の額の決定について
- 第8号議案 平成22年度監事に支払う報酬の額の決定について
- 第9号議案 全国酪農業協同組合連合会からの脱退について
- 第10号議案 役員を選任について

#### 附帯決議

この総代会において決議した事項で、行政庁の指示等により修正変更を必要とするときは、議決の趣旨に反しない範囲において、その取扱いを理事会に一任することの議決を求めます。

#### 平成22年度賦課金について

1. 賦課基準
  - ①均等割 正組合員 1人当り 1,000円  
准組合員 1人当り 500円
  - ②耕地割 水田 10a当り 200円  
畑 10a当り 100円  
(草地、樹園、桑園含)
2. 賦課基準日 平成22年9月1日
3. 徴収期日 平成22年11月1日
4. 徴収方法 現金又は貯金口座等から振替で徴収する。



### 3つを柱とする 重点取組事項と実践方策

認識し、組合員・地域住民の視点により英知を結集しながら多様な連携・ネットワークを構築することで、「新たな協同」の輪を広げ、いわいの里の農業の振興、地域への貢献と安定したJA経営の確立をすすめます。

#### ① いわいの里の農業振興

【担い手支援と消費者等との連携による「いわいの里」の農業振興】

#### ② 地域社会への貢献

【JAの総合性発揮による地域への貢献】

- 1 農業所得の増大をはかる生産・販売戦略の構築
- 2 農地の有効活用と担い手支援による農業の体質強化
- 3 消費者・地域住民合意のもとの農業政策の実現
- 4 いわいの里の営農指導・販売事業

#### ③ 安定したJA経営の確立 【協同を支える安定したJA経営の確立】

- 1 総合事業の特性発揮
- 2 組織・事業基盤の拡充と組合員との関係強化
- 3 経営健全化計画の実践と事業の効率化
- 4 活力ある職場づくり
- 3 地域コミュニティ活性化の「場」の設定
- 4 組合員・地域住民のくらしの総合的な支援
- 5 地域貢献の取り組み

## 主な質疑応答

**Q**・いわい東が合併した時に旧組合の不良債権があったが、現時点で償却した金額、回収した金額はいくらになっているか。

**A**・合併時、各組合から持ち込まれた不良債権額1億2400万円を債権償却特別勘定に計上し、これまで約5000万円償却し、約6750万円回収しました。残る不良債権額はまだ約650万円ありますが、回収になる見込みです。

**Q**・4 J A合併の構想があるが、合併は支店の縮小や事業所等の人員削減につながり、組合員のためになるとは思えない。農業生産の意欲の低下につながる。合併しなければ J Aの経営が成り立たないのか。

**A**・合併すれば役員数や管理費の削減ができる利点があります。単純に支店や事業所の統合や縮小を行い、組合員離れの要因にならない

ように十分に留意していただきます。

不安な合併や、組合員から不満の持たれる組織づくりはできないので、合併構想にある4 J Aの財務状況をしっかりと確認し、不安がない状況が判断できたら組合員に提示していきます。

最終的な判断は総代会により決議されます。

**Q**・今後、ふれあい店とATMの設置は継続されるのか不安だ。

**A**・採算性だけをみれば厳しい経営状況であります。ふれあい店は基幹支店から相当距離が遠く、地域の組合員にとって必要な施設であると認識しています。今後の経営状況と併せ存続できるように、今後一層周辺の住民の皆さんの利用をお願いいたします。

**Q**・従来から J Aは生産性の向上ということを掲げて取り組み、それなりに成果をあげているが、物を作っても売れなければどうにもならない。もっと販売、営

業面の強化が必要でないか。他人任せでなく、生産者と J A役員が丸となり全国に発信していくセールスマンになる必要がある。共に販売能力を強化し生産意欲がわくように取り組みしてほしい。

**A**・これまで J Aは生産や集荷に努力して、販路を広げてきましたが、商社的な販売面のセンスが弱かったのは事実です。現在も都会の大型店やスーパーなど生産者と役員が販売や P Rをしていきますが、今後もっと積極的の外に向けて行動を起こせるように体制づくりを強化していきます。

**要望** 部門別損益で農業関連部門が赤字で職員が減っているように感じるが、組合員自体が農業所得の向上を実感できるように運営をしてほしい。

**要望** J Aは組織づくりが大切である。生活指導や女性部事務局体制を強化し女性部活動の充実を図ってほしい。

### 功績をたたえ、11人と2団体を表彰

総代会の席上、地域リーダーとして農業振興と J A事業に多大な貢献をされた特別功労者、優良農家組合長、優良組織の会長に感謝状、また平成21年度において、農業の生産向上に努め、地域の農業振興に貢献された優良組合員、優良組織に表彰状がそれぞれ鈴木組合長から手渡されました。



### 総代会で表彰された方々

(順不同)

#### 《感謝状受賞者》

##### ○特別功労者

小野寺 栄 典さん (藤沢町黄海) 前 J A 青色申告会藤沢支部長  
那 須 徳 男さん (大東町摺沢) 前 J A きゅうり部会長

##### ○優良農家組合長

皆 川 章さん (藤沢町藤沢) 前第9区農家組合長  
佐 藤 林 一さん (東山町田河津) 前夏山農家組合長

##### ○優良組織の会長

畠 山 喜登司さん (藤沢町藤沢) 前 J A ピーマン部会長

#### 《表彰状受賞者》

##### ○優良組合員






小野寺 勝 義さん (千厩町奥玉) トマト部門  
中 澤 善 勝さん (大東町大原) きゅうり部門  
及 川 正 弘さん (藤沢町西口) ピーマン部門  
佐 藤 紀 一さん (千厩町千厩) 花き部門  
佐 藤 瑞 鶴さん (東山町田河津) 繁殖牛部門  
千 葉 雄 雄さん (藤沢町黄海) 葉タバコ部門

##### ○優良組織

























農事組合法人 おくたま農産 (千厩町奥玉)  
津谷川第一地区支部女性部 (室根町津谷川)

# 鈴木代表理事組合長を再任、新たに佐藤鉦一代表理事専務を選任

## 新役員(理事24人・監事5人)

				
いとう しゅうそう 伊藤 正三(62) 常勤監事 (藤沢町増沢)	さとう しゅうそう 佐藤 修蔵(66) 代表監事 (千厩町千厩)	はしもと かずゆき 橋本 和幸(58) 常務理事 (室根町津谷川)	さとう こういち 佐藤 鉦一(60) 代表理事専務 (藤沢町徳田)	すずき あきお 鈴木 昭男(76) 代表理事組合長 (東山町長坂)

第10号議案では役員を選任について投票が行われ、賛成多数により理事24人、監事5人が選任されました。総代会終了後に開いた理事会で、鈴木昭男代表理事組合長を再任。また新たに代表理事専務に佐藤鉦一理事を選任し、常務理事には、橋本和幸理事を再任しました。また新たに代表理事専務に佐藤鉦一理事を選任した。また監事会では、代表監事に佐藤修蔵監事、常勤監事に伊藤正三監事を再任しました。役員の任期は、平成24年度の通常総代会までの3年間となります。

					
みの くにお 藤野 國夫(70) 理事 (千厩町奥玉)	さとう せいのち 佐藤 宗一(52) 理事 (東山町田河津)	さとう つねひこ 佐藤 綱毅(64) 理事 (大東町洪民)	はが みのる 芳賀 實(61) 理事 (大東町大原)	ささき まさゆき 佐々木正義(74) 理事 (川崎町門崎)	みの みつる 昆野 満(77) 理事 (千厩町千厩)
					
つばた かずお 千葉 幹雄(62) 理事 (藤沢町西口)	いわの しゅんろう 岩淵 善朗(63) 理事 (大東町曾慶)	さとう けいじ 佐藤 敬子(69) 理事 (千厩町小梨)	あしかが ともえ 足利 智枝(58) 理事 (大東町曾慶)	まへだ よしあき 對馬喜代夫(70) 理事 (室根町折壁)	たさい ゆうさく 太齋 雄毅(67) 理事 (藤沢町黄海)
					
さとう たかし 佐藤 孝(72) 理事 (藤沢町大籠)	いとう みつる 伊東 輝(66) 理事 (大東町鳥海)	さとう せいじ 佐藤 征一(71) 理事 (室根町矢越)	こうとう りょうさく 後藤 凌作(63) 理事 (大東町摺沢)	すがわら はつみ 菅原 初美(59) 理事 (大東町大原)	おの のりあき 小野寺孝雄(63) 理事 (大東町猿沢)
					
みの よしお 昆野 芳男(68) 員外監事 (千厩町千厩)	おいかわ ひろし 及川 寛(61) 監事 (大東町猿沢)	すがわら みのぶ 菅原 清信(64) 監事 (藤沢町砂子田)	えんどう けいいち 遠藤 恭一(56) 理事 (千厩町小梨)	すがわら せいいち 菅原 清一(68) 理事 (川崎町薄衣)	きくち やすお 菊地 康夫(61) 理事 (室根町津谷川)

※ ( ) 内の年齢は総代会開催日(平成22年5月28日)現在